

世界初のロボット宇宙飛行士登場

日本の技術力が詰まったミラタに驚きの連続！！

2月2日(日)に親子天文教室「世界初のロボット宇宙飛行士ミラタがやってくる」がありました。電話受付当日、約1時間電話は鳴り続け、あっという間に満席になりました。とてもうれしい反面、電話がつながらなかった方は本当に申し訳なかったです。

当日は、プラネタリウムは160人、地下パフォーマンスステージにパブリックビューイングを設置し、そちらにも95人が参加されました。

内容は、まず現在好評投映中のプラネタリウム番組「キロボとミラタ ロボット宇宙飛行士たちの挑戦」を見ました。そのあと「KIBO ROBOT PROJECT」のメンバーの方々の熱い想いを聞くことが出来ました。ロボットをISSに送り込むためには、無重力で正常に動くか、打ち上げ時の振動に耐えられるかなど様々な試験をクリアしないといけないこと、人とロボットと一緒に会話を楽しんだり、生活をしたりする時がもうすぐやってくることなど興味深い話が多くありました。次にキロボのバックアップクルー・ミラタの会話実演です。挨拶や参加者からの質問にも答えてくれる場面もありました。実際に人の言葉を理解し、ちゃんと返事をして会話をしている様子をみなさん驚きながら見ていました。

最後には、ミラタとの記念撮影会です。プラネタリウムで見ていた全員がうれしそうに写真を撮っていました。

アンケートから「ミラタと会えてうれしかった」「TVの世界と思っていたものを、現実に観ることが出来すごかった」などみなさんにとってもいい時間だったようです。

↓高橋先生とミラタ



講演の様子←



パブリックビューイング→



身近な材料でおもちゃづくり

サイエンステラス「平和町おもちゃをつくる会」

2月2日～9日、サイエンステラス「平和町おもちゃをつくる会」の手作りおもちゃの展示と工作体験がありました。のべ77人の方が無料工作体験をしました。

展示では、同会の地域での活動写真の展示と、実際に子どもたちが工夫した作品や、科学的な探究を踏まえたおもちゃの作品展示をしました。

工作体験は、2月2日は「ピンポン玉が上る坂」、9日は、色のついていない絵を引き上げると、色がついた絵に変わる不思議な「マジックウィンドウ」、紙とクリップだけで作る「ふわふわグライダー」の2種類のおもちゃを作りました。

「マジックウィンドウ」の仕組みに「ああ、そうなんだ。」と驚きの声。

材料は割りばしやポスターの裏紙を利用するなど、身近な物を使い、お金をかけずとも楽しいおもちゃが作れることに参加者の皆さんも感心しきりでした。

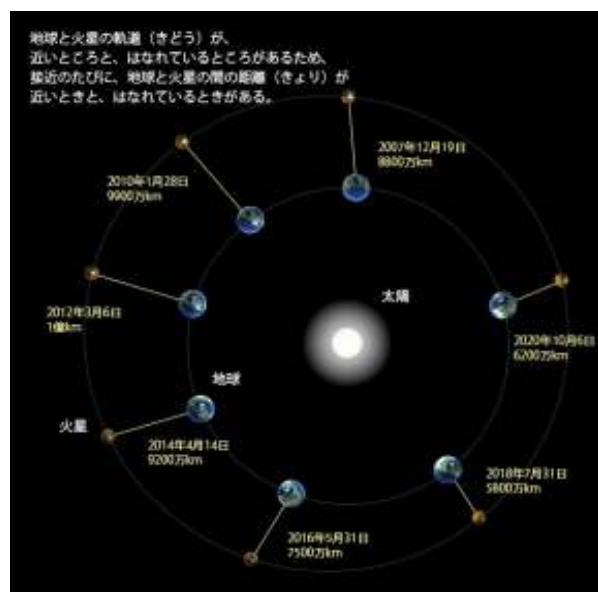


大きな模型を使って「マジックウィンドウ」の仕組みを説明する代表の伊東氏。

星空を見上げて

★『火星が最接近で見ごろ！！』★

およそ2年2か月ごとに火星は地球へ接近します。そして今年4月14日に最接近になります。おとめ座で明るく輝く赤い火星をぜひ見つけてみましょう。



詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikenkan.jp>

管理・運営：公益財団法人 豊田市文化振興財団



とよた科学体験館（産業文化センター内）
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL (0565)37-3007 / FAX (0565)37-3012